



環境活動レポート

～SDGsの達成に向けた取り組み～

エネルギーインフラを通じて、今と未来を創る
東邦ガステクノ株式会社



東邦ガステクノ株式会社

対象期間 2022/4/1－2023/3/31

トップメッセージ

当社は、お客さまの「暮らし」と「ものづくり」を支え、地域の発展と社会の低炭素化に貢献することを目指している東邦ガス株式会社のグループ企業です。主な事業内容は、環境性に優れたガスエネルギーをお届けするためのガス配管工事をはじめ、ガス供給設備の設計・工事および維持管理、監視制御システム等通信電気工事、土木工事、舗装工事などの設計・施工です。

当社は事業活動における環境負荷の低減に努めており、ガス導管の非開削工法、道路掘削工事で発生した建設発生土のリサイクルなどを通じて、環境保全、省資源に貢献しています。

また、以下の環境行動指針のもと、温室効果ガスの排出削減、産業廃棄物の削減、水道使用量の削減および社会貢献活動等にも取り組んでおり、2022年度における活動評価は、定めた目標に対し計画通り良好な結果を得る事ができました。

今後も全社一丸となって環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいりますので、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 加藤 孝治

<環境行動指針>

東邦ガスグループは、地域および地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、環境に関する社会課題の解決を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを基本方針としています。当社は、このグループ方針のもと、事業活動のあらゆる面において取り組みを進め、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献していきます。

※持続可能な開発目標（SDGs）とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成されています。

- 指針1 社員一人ひとりが環境問題の理解に努め、事業活動における環境負荷の低減に貢献します。
- 指針2 各職場における省資源・省エネルギー、廃棄物の減量化、リサイクルの推進に努めます。
- 指針3 環境に関する法令や条例等を遵守します。

1. 接続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組み

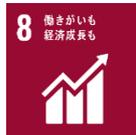
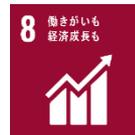


2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダでは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、17のゴールと169のターゲットで構成された「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられています。

当社は、これまでも事業活動を通じて社会課題への取り組みを進めており、引き続きSDGsの達成に貢献してまいります。



東邦ガステクノのSDGs 達成に向けた取り組み

取り組み	対応する SDGs
<p>1 事業活動における資源循環</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土の削減(非開削、浅埋等) ・建設発生土リサイクル(改良土事業) ・ガス工事の産業廃棄物再資源化 	       
<p>2 お客さま先でのCO2 排出抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料転換でのCO2 削減 ・ガスコージェネ導入での排熱利用 	    
<p>3 オフィスにおける省エネルギー対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所毎の eco ルールの作成周知 ・会議資料のペーパーレス化 ・紙ごみ再資源化率 100% ・事務用品のグリーン購入 ・節水の徹底 ・環境管理 	     
<p>4 環境法規制への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境監査による環境法令遵守の確認 ・産業廃棄物委託先等の管理徹底 ・従業員への環境教育・環境法令講習 	       
<p>5 人材戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の活躍促進、働きやすさの向上、労働安全衛生への取り組み 	    
<p>6 内部統制システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理、内部監査等 ・コンプライアンス経営の推進 	

2. 2022 年度活動目標および実績

1) 事業活動における資源循環

- ・建設発生土の削減(非開削、浅埋等)
- ・建設発生土リサイクル(改良土事業)
- ・再資源化の推進

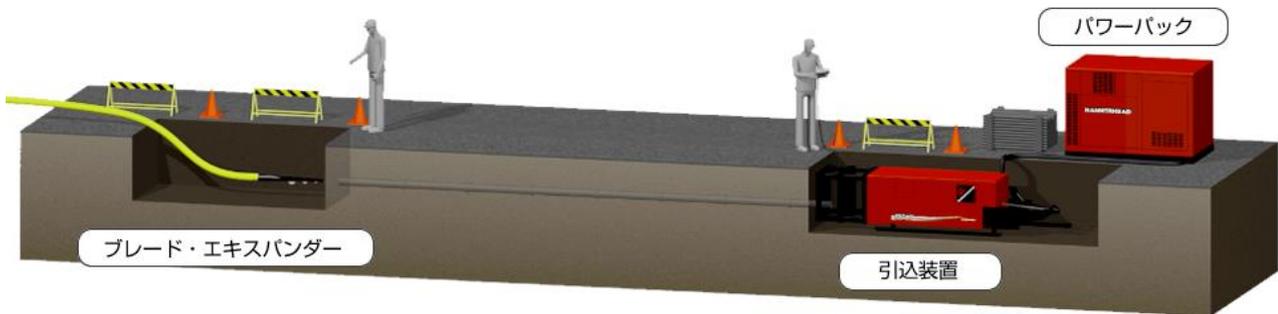


◇建設発生土の削減

項目	目標	実績	評価
非開削工法*の推進	・道路工事における建設発生土の削減推進およびそれに伴う運搬車両削減によるCO ₂ 削減	・実施不可能な要因がない限り、非開削もしくは細幅掘削の実施によって、建設発生土を削減 ・仮埋め戻し材を使用し、建設発生土の運搬車両削減によってCO ₂ 排出量を削減	○

*掘削部を最小限にし、地中をドリル等で掘り進み管を敷設する工法により、建設発生土の抑制及び道路規制削減

○非開削工法の推進



STREAM 工法概要図



STREAM 工法 パワーパックと引込装置



PE 管を再資源化した仮埋め戻し材

◇ガス工事の産業廃棄物再資源化

○がれき類再資源化率 100%

目 標	達成手段	評価
がれき類再資源化率 100%維持	・再資源化可能な委託先の選定	○

実 績					
種 類	発生量(t)	再資源化(t)	減量化(t)	最終処分(t)	再資源化率(%)
汚 泥	298.9	20.9	275.0	3.0	7
廃 油	0.6	0.2	0.3	0.0	45
廃プラスチック類	16.4	9.9	4.1	2.5	60
金属くず	16.1	15.4	0.2	0.5	96
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	0.5	0.4	0.0	0.1	79
がれき類 (アスコンガラ)	30,349.3	30,349.3	0.0	0.0	100
紙くず	0.0	0.0	0.0	0.0	81
木くず	31.9	26.8	4.1	1.0	84
混合物産廃	351.8	186.4	158.3	7.0	53
合 計	31,065.4	30,609.4	442.0	14.0	98.5%

○ガス工事の産業廃棄物再資源化

・ポリエチレン管 11.61t、アスコンガラ 30,349t を 100%再資源化（再資源化可能な施設へ委託）。

< がれきの再資源化(アスファルト合材) >



既設アスコン撤去

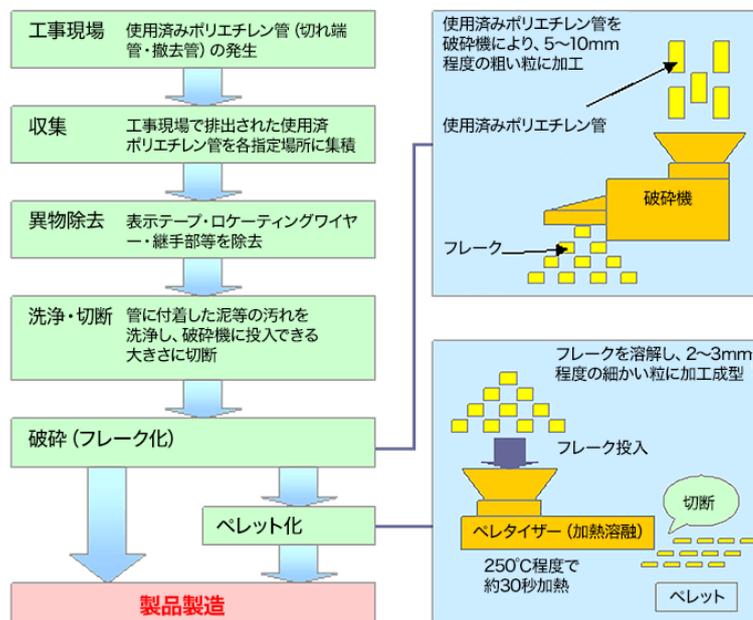


アスコンリサイクル



再生アスファルト合材による舗装

< ポリエチレン管リサイクルシステム >



ポリエチレン管のリサイクルで製造された表示杭・管床台

※出典：東邦ガス株HP

2) お客さま先でのCO2 排出抑制

- ・燃料転換でのCO2 削減
- ・ガスコージェネ導入での排熱利用



◇燃料転換でのCO2 削減

- ・2022 年度の燃料転換工事施工実績 4 件

< 化石燃料の酸化物排出量比較 >



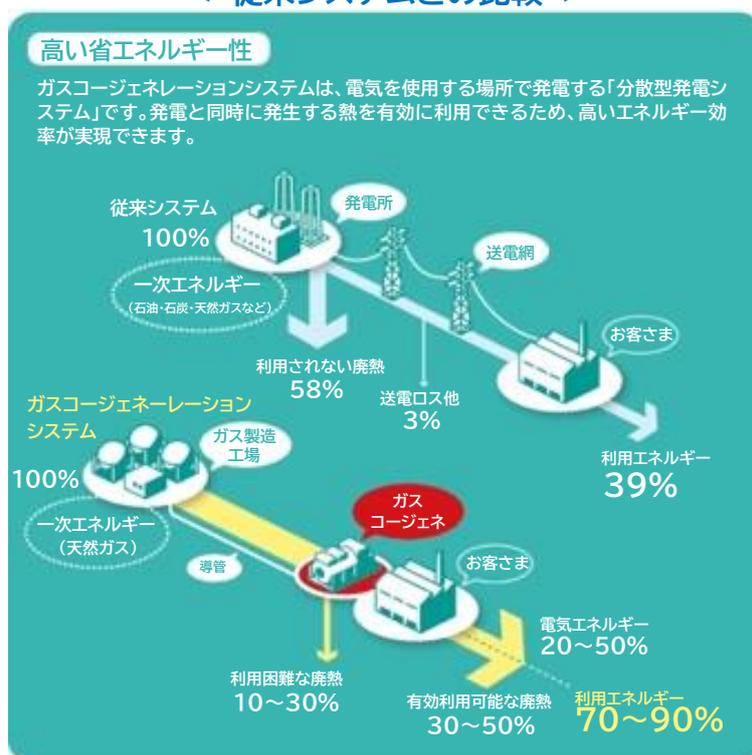
出典(財)エネルギー総合工学研究所「火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書」(1990.3) (CO₂)
IEA(国際エネルギー機関)「Natural Gas Prospects」(2010.1986) (NO_x 及び SO_x)

※出典:東邦ガス(株)HP

◇ガスコージェネ導入での排熱利用

- ・2022 年度のガスコージェネ施工実績 2 件

< 従来システムとの比較 >



※出典:東邦ガス(株)HP

3) オフィスにおける省エネルギー対策

- ・事業所毎の eco ルールの作成周知
- ・会議資料のペーパーレス化
- ・紙ごみ再資源化率 100%
- ・事務用品のグリーン購入
- ・節水の徹底
- ・環境管理



◇事業所毎の eco ルールの作成周知

項目	目標	達成手段	実績	評価
事業所毎の eco ルールの作成周知	環境負荷低減への意識向上	事業所ごとに選任された環境推進者にて建物 eco ルールの作成・周知	全事業所において建物 eco ルールを作成し、事業所毎の活動内容を共有および実施	○



本社 eco ルールを遵守した分別

◇会議資料のペーパーレス化

目標	達成手段	実績	評価
紙資料の削減	会議室モニター画面での共有と各自にてノート PC での閲覧	資料配布ゼロ	○



◇紙ごみ再資源化率 100%

目 標	達成手段	評価
・紙ごみ再資源化率 100%維持	・建物 eco ルールを遵守した分別の徹底 ・ペーパーレス化の維持継続	○

事業系一般廃棄物の再資源化率

種 類	発生量 (t)	再資源化 (t)	最終処分 (t)	再資源化率 (%)
用 紙	8.63	8.63		100
新聞・雑誌・段ボール	3.00	3.00		100
ビ ン	0.02	0.02		100
缶	0.05	0.05		100
ペットボトル	0.11	0.11		100
発泡スチロール	0.03	0.03		100
その他可燃物	2.53		2.53	0
その他不燃物	0.04		0.04	0
合 計	14.40	11.83	2.56	82.2

◇事務用品のグリーン購入

目 標	達成手段	実 績	評価
事務用品(OA用紙等)のエコマーク商品選定購入 100%維持	OA用紙を始めとする日常的に使用する事務用品については、エコマーク商品を選定し購入	グリーン購入 100%	○

◇節水の徹底

目 標	達成手段	実 績	評価
節水の徹底	・水量の調整 ・節水機器への随時更新	・水道機器の元バルブでの水量調節実施 ・本社事務所トイレの節水機器(センサータイプ)への更新実施	○



センサータイプの節水機器

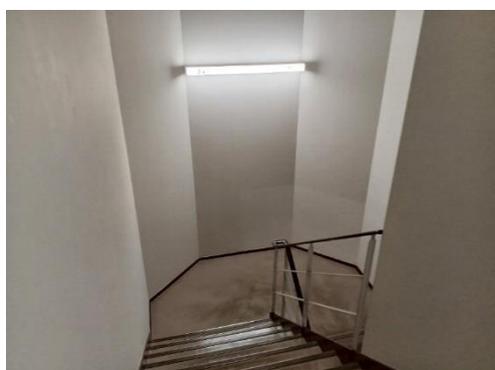
◇環境管理 (オフィス毎のエネルギー消費量) (単位: kg-CO2) *2

分類	基準値 *1	目標値	2022年度	対目標値	評価
		対基準値 1.0%減	実績		
オフィス・倉庫	本社事務所	78,631	77,845	77,822	-0.03%
	福江事務所	34,189	33,847	24,401	-27.91%
	金沢事務所	0	0	3,911	-
	津事務所	22,154	21,933	21,203	-3.33%
	四日市倉庫	1,056	1,045	630	-39.71%
	中川倉庫	3,766	3,729	1,949	-47.73%
	排出量小計	139,796	138,399	129,916	-6.13%
名南改良土センター	エネルギー	163,085	161,454	159,082	-1.47%
	重機燃料(軽油)	241,132	238,721	280,214	17.38%
	排出量小計	404,217	400,175	439,296	9.78%
一般車両	ガソリン	581,342	575,530	505,549	-12.16%
	軽油	39,573	39,177	42,870	9.43%
	CNG	30,763	30,456	857	-97.19%
	排出量小計	651,678	645,163	549,276	-14.86%
総排出量	1,195,691	1,183,737	1,118,488	-5.51%	○

*1 新型コロナウイルス感染症対策におけるエネルギー使用量増加を想定し、基準値は基準年度(2018年)の実績値に対し、ガス+30%、電気+10%、ガソリン+20%と設定し、取り組みを実施していく

*2 <CO2 排出係数>

購入電力 0.476 kg-CO2/kWh 中部電力㈱2017年実績値・環境省資料	都市ガス 2.29kg-CO2/Nm3	LPガス 6.266kg-CO2/m3	ガソリン 2.32kg-CO2/L	軽油 2.58kg-CO2/L	CNG 2.29kg-CO2/Nm3
---	------------------------	------------------------	----------------------	--------------------	-----------------------



人感センサー設置による、電力エネルギーの削減
(階段室、トイレ)



サーキュレータによる室内上下温度差の解消

4) 環境法規制への対応

<ul style="list-style-type: none"> ・環境監査による環境法令遵守の確認 ・産業廃棄物委託先等の管理徹底 ・従業員への環境教育・環境法令講習 	
---	--

◇環境監査による環境法令遵守の確認

項目	目標	達成手段	実績	評価
環境監査	法令遵守	環境監査の実施により、廃棄物処理法関係、公害防止関係が適正に報告、届出されていることを確認	各事業所の1次監査員によるセルフ監査、その後の事務局による2次監査を実施し、法令が遵守されていることを確認	○
産業廃棄物委託先等の管理徹底	産業廃棄物における排出量、運搬、処分の管理徹底	・産業廃棄物委託先の管理徹底(許可有効期限の確認)	・委託先の許可有効期限を各事業所と事務局でダブルチェックを実施し、適正に委託していることを確認 ・電子マニフェストの導入	○
従業員への環境教育・環境法令講習	環境法令の知識向上	事業所ごとの環境自主監査員に対して環境法令講習およびeラーニング学習の受講	対象従業員の講習受講状況の確認	○

5) 人材戦略

<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の活躍促進、働きやすさの向上、労働安全衛生への取り組み 	
---	--

◇人材戦略

- ・女性活躍推進法適用に向け、女性社員の管理職登用に向けた活動を推進(現在チーフに2名就任)。
- ・在宅勤務および自宅から現場の直行直帰を推進。
- ・安全衛生活動計画を策定し、各事業場にて1回/月、委員会を開催し進捗状況を共有。



名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業



名古屋市子育て支援企業

6) 内部統制システムの整備

- ・リスク管理、内部監査等
- ・コンプライアンス経営の推進



◇リスク管理、内部監査等

全社にて社内リスク管理状況報告書を用いて、各種リスクに応じた対策を実施。また、社内自主監査にて各種業法における遵守状況を確認。

◇コンプライアンス経営の推進

コンプライアンス活動計画を策定し、主に各職場ミーティングを用いて、年間を通じてコンプライアンス向上に取り組む、2回/年コンプライアンス委員会を開催し、取組結果を共有。

3. 組織の概要

(1) 名称および代表者名

東邦ガステクノ株式会社 取締役社長 加藤 孝治
 (ホームページアドレス) <http://thg-group.tohogas.co.jp/tohogas-techno/>

(2) 事業内容

都市ガス・液化石油ガスに関する管工事の設計・施工及び設備の保守管理
 給水工事・排水設備工事の設計・施工及び修繕工事の施工
 空調設備工事の設計・施工
 舗装工事の設計・施工
 建設発生土の土壌改良及びその改良後の製品販売

(3) 事業所および倉庫所在地

本社事務所	〒460-0022	名古屋市中区金山五丁目 18 番 37 号
岐阜事務所	〒500-8533	岐阜市加納坂井町 2 番地
福江事務所	〒466-0059	名古屋市昭和区福江三丁目 7 番 7 号
金沢事務所	〒920-0364	石川県金沢市松島二丁目 84
名南改良土センター	〒476-0005	愛知県東海市新宝町 507 番地の 2
名古屋北部土質改良センター	〒480-0301	春日井市内津町字北山 383 番 5 号
津事務所	〒514-0043	三重県津市南新町 7 番 48 号
四日市事務所	〒510-0055	三重県四日市市寿町 2 番 19 号
四日市倉庫	〒510-0055	三重県四日市市寿町 2 番 19 号
中川倉庫	〒454-0847	名古屋市中川区細米町 1 丁目 4 番地

※四日市事務所、岐阜事務所は東邦ガスの建物内または施設内にあり、名古屋北部土質改良センターは共同企業体組織である。
 これらは、エネルギー使用量を個別に把握することが不可能であるため、環境活動のみを行っている。

(4) 事業規模

設立年月日 1967 年 10 月 25 日
 資本金 4,500 万円
 売上高 8,065 百万円 (2022 年度)
 従業員数 261 名 (2023 年 3 月 31 日現在)

(5) 環境マネジメント体制

環境統括者 常務取締役 コンプライアンス推進部長 村田 純一
 全社事務局 コンプライアンス推進部 総括課長 山下 太朗

